2022 年度 福祉助成金（活動助成）成果報告書

<table>
<tr><td>ふりがな</td><td colspan="2">いっぱんしゃだんほうじんおかやまにやかんちゅうがっこうをつくるかい</td></tr>
<tr><td>団体名</td><td colspan="2">一般社団法人 岡山に夜間中学校をつくる会</td></tr>
<tr><td>代表者名</td><td colspan="2">城之内　庸仁</td></tr>
<tr><td rowspan="4">連絡先</td><td>住所</td><td>岡山市北区表町１－９－53　いろはみせビル３階</td></tr>
<tr><td>TEL</td><td>０９０－２８６２－４４００</td></tr>
<tr><td>E-mail</td><td>noby1009@gmail.com</td></tr>
<tr><td>URL</td><td>http://www.okayama-yakanchu.com</td></tr>
<tr><td>設立年（西暦）</td><td colspan="2">2017　年</td></tr>
<tr><td>助成活動名</td><td colspan="2">岡山自主夜間中学校における学び直し事業</td></tr>
<tr><td>助成額</td><td colspan="2">3,000,000　円</td></tr>
<tr><td rowspan="2">活動内容</td><td>目的</td><td>当会は「学ぶことは生きること」を理念として、学び直しをしたい人は誰でも学ぶことができる「学びの場」を提供するために 2017 年 4 月設立され、2023 年 4 月現在約 300 人の生徒が在籍している。戦後の混乱期で学ぶことのできなかった高齢者、様々な理由で義務教育をうけることが出来なかった人、そして近年では学齢期の不登校の生徒、外国籍や外国にルーツを持つ人などの学びのセーフティネットとして活動をしている。2022 年 3 月までは、岡山国際交流センターにて週 1 回土曜日に授業を実施していた。原則個別学習を行っているが、外部講師による一斉授業や校外学習を行い、他者との関わりを持つことができるよう支援を行っている。またチューター制を導入し、学習支援だけでなく、日常生活においてのサポートも実施している。以前より生徒からは「もっと授業回数を増やしてほしい」という要望が多かった。また近年のコロナ禍で使用していた施設の臨時休館により、何度も臨時休校をせざるを得ない状況となり、「学びの場」を確保することが非常に困難であった。義務教育段階の学びが不十分であるために、日常生活に困り感を持っている生徒にとっては、休校という状況は非常に厳しい状況である。当会としてもオンラインや電話、個別の家庭訪問等を行い、サポートを行ったが十分にサポートするのは非常に困難であった。以上のことから常設教室を開設することを決断した。</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>当会の生徒の多くが公共交通機関を利用して通学していることから、常設教室の開設場所は利便性の良い場所でなくてはならない。また在籍人数も多いことから、広さも十分に確保できる場所でなくてはならない。場所を検討している中で、表町商店街での物件の話があった。その物件は一階は店舗として使用されて</td></tr>
</table>

		いるが、3 階は 30 年以上使用されておらず、廃棄物等を置く倉庫として使用されていた。立地としては好条件であり、広さも十分であったが、長年倉庫として使用されていたため、リフォームは必須であった。改修工事の費用はかなりの金額であり、費用を抑えるために、生徒、スタッフ総出で、複数回にわたりできる作業をおこなった。廃棄物の撤収、天井の取り壊し作業、壁面の塗装、床の補修、窓ガラスの清掃などを行った。そして 2023 年 4 月、念願の常設教室を開校することが出来た。開校式には招待者、生徒、スタッフを合わせ約 130 名もの来場者が集まった。そして 5 月には平日月曜日、水曜日の授業開催を実施することで、週 3 回の授業回数を確保できた。その他にも、以前は貸会議室が授業場所であったために、毎回膨大な量の教材や備品を運搬せざるを得なかったが、その作業もなくなった。また生徒が自由に借りることができる図書館を併設することが出来た。
	成果	常設教室の開設により、以前より生徒から要望があった授業回数の増加を確保することが出来たことで、学習の習得状況も向上した。常設教室のおかげで、数学検定、漢字検定の準会場として認定されることになり、それぞれの習得度に応じた級数を受験したことにで、当会の生徒も受験者が増加した。また音楽、実技などの教科を実施している。また外国籍や外国にルーツを持つ人も週 3 回の授業を受けることで、今まで以上に日本語の習得度があがっている。また生徒主導の委員会活動が発足し、その一つがベルマーク委員会であるが、最初は少数で行っていた活動が活発化している。ベルマークの回収箱を公民館やスーパーに設置したところ、多くの方からベルマークが届き、先日は新聞の記事にも取り上げられるまでになった。その他にも生物部や鉄道部などさまざまな活動がたちあげられている。生徒会も発足した。単に「学ぶ」というだけでなく、生徒主体で様々な活動を行っていくことで、自己肯定感が高まることで自立に向けての支援にさらにつながることとなった。
今後の課題と対応策	岡山自主夜間中学校は学び直しの場であることと同時に、今まで引きこもりの状態にあったり、日常生活に困難を抱えている人が、困り感を解決し、自立していけるよう様々な面での支援を永続的に行っていきたい。そのためには常設教室の賃料などの運営費を確保していかなければならない。マンスリーサポーターの獲得を強化していくことで、財政面の問題を解決していけるよう広報活動を強化していきたい。	
写真の提出	生徒、スタッフの改修工事の様子① 壁面の解体 廃棄物の運搬	

生徒、スタッフの
改修工事の様子②

壁面・シャッター
のペンキ塗り

生徒、スタッフの
改修工事の様子③

床掃除

開校式の様子

開校式後の
授業の様子